

社長のひとりごと
【住宅】

Vol.167 2016 1月

どんどん『大工さん』が居なくなります

アサヒグローバル株式会社 代表取締役
ゴールドトラスト株式会社 代表取締役
ゴールドエイジ株式会社 代表取締役 文/久保川議道
Yoshimichi Kubokawa



全ての「社長のひとりごと」がWEBで読める!
『くばかわよしみち.com』毎月20日更新!!

くばかわよしみち.com

検索

ホームページ
agg-hd.co.jp
asahiglova.co.jp
gloval-mie.co.jp
super-chintai.com
goldtrust.co.jp
goldage.co.jp
kubokawayoshimichi.com

1980年に『94万人』だった大工さんが（国政調査より）、2005年に54万人になってしまった。25年間で40万人の大工さんが居なくなってしまった。1年間で1.6万人の減少ですから、今2015年でも16万人減っているはずです。現在は『38万人』の大工さんとなつてしましました。

大工さんだけでなく建設現場の職人さんはがどんどん減少しているんですね。東京では建設費用が3割値上がりしていまがついに東海地方の愛知県でも値上がり始めました。資材だけでなく現場の職人さんが不足していますから、どうしても建設コストが上がってしまいます。私にとりましても『安くていい家』を作りたいのですが、この猛烈な『職人不足』にはどうしようもありませんね。

はい、突然ですが『私は職人』でした。24歳から33歳の10年間は現場の職人として本当に働いていたのです。大学を優秀な成績（？）で卒業してドイツ語の先生が商社に就職できたのですが、設計やデザインの仕事に憧れて建設業に就職しました。24歳で独立しましたが25歳で大黒柱の父が亡くなつたので、7人家族を養う為に現場の職人になつたのです。なんか珍しい巡り合わせですね。しかし思い出すと本当に楽しい10年間でした。

職人仕事はバカではありません。道具を備えたり、技術を磨いたり、厳しい親方に教えてもらつたり、すごく『頭を使う』仕事でした。そしてやればやる程に収入が増えるのも魅力的でした。私は県内で一番稼いだ腕のいい職人でしたから、当時大学卒業の初任給が月13万円くらいの時代に、毎月130万円ずつの収入がありました。そしてこのお金を元手にしてその後『人社長』の会社を立ち上げて今日までやってきました。今では社員900人、売上150億円になつてしまいました。（三重県内ではN.O.1）建設の仕事が好きで楽しかったのです。

さてこれから『職人さん不足』をどうすればいいのでしょうか。当社は2016年に注文住宅は『480棟』の受注。アパート・マンション・高齢者住宅は『320戸』の受注ですから合計で『800世帯』の住宅を建設しなければなりません。それも『安くていい家』ですから、職人不足とは言つていられないのです。今、大工さんは48人取引がありますが全然全く足りません。さてさて私のやり方は3つです。①私の仕事をつけて建設業に就職しました。②独立しましたが25歳で大黒柱の父が亡くなつたので、7人家族を養う為に現場の職人になつたのです。なんか珍しい巡り合わせですね。しかし思い出すと本当に楽しい10年間でした。

最高です。②今、会社にはフイリピンからの『大工研修生』が16人いますが、これらは毎年もっと増加させます。みんな眞面目でよく働いてくれます。フイリピンで60人ぐらい『テスト』して『面接』して『6ヶ月間』研修して日本へ来てもらいますから、優秀な職人さんになつてくれています。ありますがない事ですね。③今、ヤンキーを探しています。まあ言で言うと、若くて元気がある人、しかし少し勉強は嫌いな若者です。私はまあ職人の親方、親分と同じですからちょっと問題児の方が好きなタイプの人間です。この子達を2～3年厳しく現場で教育して、物づくりの楽しさや喜びを教えてあげられれば、これ以上の喜びはありません。大卒ではなくても、中卒でもいいのです。まずは30人ぐらいの『職人学校』を『シェアハウス』に住まわせて、なんかボクシングや英語の勉強などもさせて、立派な職人にさせたい希望を持っています。

お客様に『いい家を安く』提供するためには『職人不足対策』をしつかりやらないと実現しないのです、と言うお話しでした。そしてやはり大切なことは好きな仕事を楽しく一生懸命にすると『お客様』が喜んでくださることを実体験することで、これが分かると人生が変わりますね。私は人でも多くの職人を育てます。

わくわく
夢ニュース【住宅】

吹き抜けのある
大開口リビング

一日中光が取り入れられる大開口サッシが明るい雰囲気を演出
吹抜けを通して2階とのコミュニケーションも取りやすい事もポイント。
魔法瓶断熱で上も下も温かい空間を作れます。



2016
1月
No.167

